

SCOUTING

2018
No.725
5



なろう。一人前に。
キャンペーン実施中

特集

平成30年度 事業計画

第45回 全国ボーイスカウト 写真コンテスト

写真：第45回全国ボーイスカウト写真コンテスト
青年・成人の部 最優秀「水風船キャッチ」



CONTENTS

- 02 2018年度事業計画

- 05 ニッポン全国元気団紹介
静岡県連盟 浜松第30団

- 06 企業とのコラボレーションバッジが登場!
“数量限定”新チャレンジ章

- 08 いよいよ開催まで3か月!
第17回日本スカウトジャンボリー

- 10 第45回全国ボーイスカウト写真コンテスト
入賞作品発表!!

- 12 野外活動のための安心・安全講座
2016(平成28)年度
そなえよつねに共済 事故データ分析

- 14 平成30年度全国大会

- 14 スカウティングの知っててちょっと良い話(48)

- 15 日本連盟創立100周年に向けて
ボーイスカウト再興への道
シリーズ(3) 登録料改定の真意

- 16 ローカルホットライン

- 17 エッセイ

- 17 信仰奨励

- 18 スカウティングとウッドクラフト⑤
ウッドクラフト修得から始まる
信仰、奉仕への道

- 20 日本連盟情報

- 20 維持会員

- 21 日本連盟創立100周年記念章を着用しよう!

- 21 外国語会話バッジに6つの言語を追加

- 22 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2018

- 23 スカウトショップ

2018年度 事業計画

新年度が始まり、ボーイ・ベンチャー部門の新たな進級課程の取り組みもスタートしました。今年は、5つの重点施策のほか、石川県珠洲市で開催する第17回日本スカウトジャンボリーやRCJ野営大会、国際行事への派遣などの事業を実施します。2022年に迎える日本連盟創立100周年に向け、加盟員一丸となって活動に取り組んでまいりましょう。

2018年度事業計画について

2022年の日本連盟創立100周年まで、あと4年となりました。私たちは、この4年間で加盟員数が上昇に転ずるように、さまざまな施策に取り組んでいます。

今年度は、特に「財政再建および組織改革に関する基本方針」による事業に最優先で取り組み、安定した組織でスカウト運動の価値を高めるよう、運動全体を徹底的に点検し、改革を行います。このことは、今後のスカウト運動の再興に向けてプログラムや指導者の質を向上させるためにも不可欠の措置だといえます。

また、都道府県連盟や加盟員の皆さんには、現状を十分ご理解いただき、本運動の未来のために登録料を改定することをご理解いただきたいと思ひます。皆さんに負担増を求める以上、日本連盟は、事業のあり方や組織体制について、聖域を設けることなく抜本的に見直し、効率的に組織運営を進めます。日本連盟のみならず、日本全国のスカウト組織全体が、今年を運営面、財政面においても透明性をもって取り組む「ガバナンス元年」として、全員が一体となって再建に取り組まなければなりません。

8月には、石川県珠洲市で第17回日本スカウトジャンボリーを開催します。この大会は第23回世界スカウトジャンボリーの経験を踏まえて、日本のスカウト運動の底力を示す事業となるよう全力を尽くしましょう。

これらの施策と事業を進めるため、皆さまのさらなるご理解とご協力をお願いします。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

理事長

奥島孝康





そなえよつねに
ボーイスカウト

■ 事業スローガン

「活動的で自立したスカウトを育てよう!!」 ～日本連盟創立100周年を目指して～

2018年度は、日本連盟創立100周年まで4年となり、100周年を目指した長中期計画は3年目の取り組みとなります。これに加え、財政再建および組織改革に関する基本方針、広報戦略、加盟員拡大、中途退団抑止、財政ビジョンの施策により相乗効果を生み出すため、具体的な取り組みを進めます。

また、第17回日本スカウトジャンボリー、RCJ 野営大会、

全国スカウトフォーラム等の開催、ボーイ・ベンチャー部門の新たな進級課程への取り組み、第26回アジア太平洋地域 (APR) スカウト会議 (フィリピン) への日本代表団派遣、各種海外行事への参加者派遣等に積極的に取り組むとともに、創立100周年を目指したさまざまな準備を進めます。

そして、日本のスカウト活動の活性化と加盟員拡大を最大の課題として、次の施策・事業を展開します。

重点施策と重点事業

重点施策

1. 財政再建および組織改革に関する基本方針

スカウト運動の再興に全力を尽くすため、経営状況の透明化や組織の効率化を進めます。そのため、今後の財政再建や経営体制のあり方について、次の7つの「基本方針」に取り組みます。

- (1) 登録料の値上げによって財政を立て直し、スカウト運動の質を向上させる
- (2) 事業や業務の全面的な見直しを行い、予算の効率化を実現する
- (3) 収入の柱のひとつであるエンタープライズの経営を刷新し、安定的に収入を確保する
- (4) 保有金融資産の活用や企業寄付の獲得など新たな収入の道を確保する
- (5) 高萩スカウトフィールドの活用方法を具体的に示す
- (6) 理事会の執行体制の明確化など組織体制の見直しを行う
- (7) 日本連盟の経営情報の透明化を進め、関係者の声を聞く

2. 日本連盟創立100周年を目指した長中期計画の行動計画への取り組み

- (1) コミッショナーの充実
- (2) 質の高い活動のための方策(セーフ・フロム・ハーム)
- (3) 指導者養成
- (4) 地域コミュニティづくり
- (5) プログラムの見直し
- (6) 登録制度の見直し
- (7) スカウティングにおける成人の役割
- (8) 情報伝達手段の刷新

- (9) 組織体制の検討
- (10) 国家資格認定制度へのチャレンジ
- (11) 公益事業の取り組み
- (12) 野外活動施設の確保

3. 加盟員拡大・組織拡充・中途退団抑止に向けた取り組み

加盟員の拡大と組織拡充に取り組み、スカウト活動を活性化するために、日本連盟のみならず、県連盟・地区・団との連携により、次の3項目を重点的に取り組みます。

- 加盟員獲得に向けた広報戦略の展開・スカウト活動のユニークさをアピール
- 団診断による団への支援と新団設立への取り組み
- 中途退団抑止のための支援

4. 安定した運営

公益財団法人として安定した運営を進めるために、次の4項目への取り組みを進めます。

- 企業・他団体・行政との連携促進
- 維持会員増強
- 財政ビジョンへの取り組みと加盟登録料改定準備
- 世界・地域との連携

5. 100周年記念事業の策定

日本連盟創立100周年に向け、記念事業のさまざまな計画の検討を進めます。

- 記念事業の策定と準備開始
- 第18回日本スカウトジャンボリー(2022年)の会場決定

重点事業

1. 第17回日本スカウトジャンボリー

8月4日から10日まで石川県珠洲市で第17回日本スカウトジャンボリーを開催します。今回は、これまでの派遣隊方式から自団の隊のまま参加できる方式に変更することで、すべてのスカウトが自団の指導者と一緒に参加できるようになり、普段のスカウト仲間との班編成で、ベンチャースカウトの支援を受けながら大会参加に向けた事前訓練に取り組み、大会参加を通じて長期キャンプを実践することで、参加する隊や班の育成を図る機会とします。



2. 世界および国際事業への取り組み

第26回 APR スカウト会議および第9回 APR スカウトユースフォーラム(ともにフィリピン)に代表を派遣します。

2019年に実施する第24回世界スカウトジャンボリー派遣については、派遣実行委員会による日本派遣団の編成を進め、同会場で開催される派遣団長会議に参加します。

3. 各種行事の開催

RCJ 野営大会、全国スカウトフォーラム等の行事を開催します。

重点施策1.の基本方針(1)につきましては、3月に開催した臨時評議員会にて承認されました(本誌15頁をご確認ください)。また、4月に全団委員長宛に経緯を含めた文書をお送りしていますので、各団でご確認ください。なお、岐阜で開催する平成30年度全国大会と次号7月号でも改めてご案内する予定です。

※誌面の都合により、タイトルをの抜き出しや一部を要約しています。詳細は日本連盟 HP よりご確認ください。

ニッポン全国 元気団 紹介

静岡県連盟 浜松第30団

本州中部の太平洋沿岸に位置し、日本最高峰である標高3,776mの富士山がある静岡県。その西部、政令指定都市である浜松市に、5人のスカウトからスタートし、発団15年で登録100人に急成長中の浜松第30団がある。



発団15年。理想の団を目指して。

15年で10倍に

2003(平成15)年、理想の団を作ろうと、現団委員長ら数人で団を発足。5人のスカウトから始まった。ボーイスカウトは社会教育運動であり、学校ではない。そこを再確認したうえで、団としての10個のマニフェストをつくった。「自発的」などの活動のキーワードはもちろん、保護者とともにスカウトを育てていくこと、団運営では話し合いを基本とすること、団の規模は活動に適切な人数にすることなど、その範囲は団に関わるすべてに及ぶ。また、募集に関しても、スカウトたちが集会等に参加しやすいように地域密着型を基本とするなど、基本方針をしっかりと定めている。当たり前のことかもしれないが、実際にそれを定め、全員が一丸となって行っていくことは難しい。

しかしその成果は如実に現れ、発団15年で登録目標数の100人となり、スカウトたちの進級もよい状態となっている。また、隊運営と両輪となる団運営も、各種委員会をきちんと置き、多くの人に関わってもらいながら、当初掲げた理想に向け日々邁進している。



本気の団運営

各隊の活動も充実している。ビーバー隊では、地域の方の協力で畑を作り、野菜を育てるなどのプログラムを年間を通じて実施している。カブ隊は、野外でめいっぱい活動しているが、やはり人気が高いのは夏季合営。ボーイ隊では、キャンプ全般や読図などの基本技能を高める活動に日々取り組んでいる。ベンチャー隊は団の垣根を越え、地区の仲間たちと地域の防災に関する活動なども行ってい

る。また、ローバー隊は半数以上が地元を離れているそうだが、団行事のB-P祭の企画運営などを積極的に行っている。

こうした良き活動は団や保護者全員で支えられている。入隊から上進、進級などのスカウトの個人記録をきちんとデータ管理し、団会議では、スカウト一人ひとりの出席状況や現在の様子などを指導者と団委員でしっかりと共有、中途退団防止のための施策を考えているようだ。また、各委員会がきちんと機能しており、見学にくる保護者などへの対応は組織拡充委員会が集会へ出向いて行っているという。さらに、集会会場の予約なども団サイドで行うなど、団委員会が本来の役割を果たし、指導者は集会に集中。しっかりと両輪でスカウトたちの活動を支えている。



合同保護者会

こうした団委員や指導者の多くは、保護者の中からリクルートしているようだ。また、上進率がとても高く、活動に対する保護者の理解度も高い。保護者は活動を見学するだけではなく、カブ隊では「母の会」を設置。遠くから活動を見守るだけではなく、さまざまな下準備なども行ってもらいほか、年間プログラムを組む際にはアンケートなども実施しているようだ。中でも理解促進と上進に一番つながるものは、ビーバー隊からボーイ隊まで毎月合同で行っている保護者会だという。こうした取り組みは、わが子の将来活動していく姿が明確にわかるだけではなく、部門を越えた保護者同士の良い関係を築き、連携や仲間意識が高まるようだ。そして、近くの団が見学にくるほどの内容になっている。

ターゲットに合った募集活動

団が発足した当初、周りには多くの団があった。こうした中で、説明会を行ってもなかなか人を集めることが難しく、独自の方法を模索していた。そこで挑戦したのが「パパ・ママ・キッズ ワンデイ キャンプ」という野外料理や森の自然で遊ぶ体験型の親子野外イベント。4千枚ほどのチラシを地域の学校に配り、今では3日ほどで定員を超える申し込みがあるようだ。この取り組みは、元々アウトドアに興味があり、子どもにも体験させたいという、まさにボーイスカウトのターゲットといってもいい保護者たちの心をとらえ、子どもの入隊はもちろん、参加した保護者自身が指導者になることも多いそうだ。

それぞれがそれぞれの責任を

また、育成会は「地域で子どもたちを育てる」という本来の意図がまさに実行されていて、地元名士の方に育成会長就任をお願いし、地域ぐるみで応援していただいているようだ。

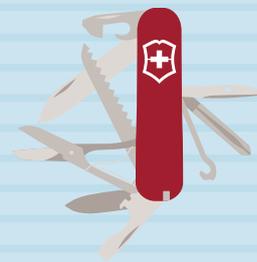
今の時代だからこそ、この運動は必要だとおっしゃる団委員長。それぞれの役割を把握し、団委員には団委員の、指導者には指導者の、そして保護者には保護者の役割をしっかりと意識してもらい、確実に行ってもらう。この集合体こそが団であり、そのすべてが円滑になるからこそ、スカウトたちはより良い活動が展開でき、理想の団になっていく。こうした積み重ねで、浜松第30団はますます元気な団になっていくのであろう。



お話を伺った皆さん。暖かい日差しのもと、いろいろなお話をありがとうございました。

カブスカウト対象

企業とのコラボレーションバッジが登場！



“数量限定” 新チャレンジ章



カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」といった5つの分野で全40種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進級課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者や家族の皆さんと一緒に取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業とのタイアップによるバッジが数量限定で加わるようになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。

このバッジは、それぞれの分野で活躍する企業とのタイアップなので、来年も同じバッジに挑戦できるとは限りません。隊ごとでの申し込みになりますのでこの機会を逃さず、活動に取り入れてください。

チャレンジするには……

ステップ

1

日本連盟ホームページの当該ページから「エントリーフォーム」に必要事項を明記のうえ、隊ごとにお申し込みください。



ステップ

2

お申し込みいただいた隊には、コラボレーションバッジパッケージ（バッジ、ワークブック、実施の手引き）をお送りします。[6月上旬予定]



ステップ

3

パッケージの内容物をご確認いただき、実施の手引きを参考に展開してください。その際、写真撮影などの記録を忘れずをお願いします。



ステップ

4

お申し込みいただいた隊には、後日、取り組み内容などの報告フォームをお送りいたします。活動中の写真も含めた報告をお願いいたします。



ラウンドテーブルなどで実際の活動への展開方法などをご検討ください。

費用はかかりません

- 企業とのタイアップのため、左記コラボレーションバッジパッケージと送料は無料です。
- なるべく多くのスカウトに参加していただきたいと思っておりますが、バッジの数量に限りがあります。各隊におきましては、実際のスカウト数に基づいたお申し込みをお願いいたします。
- バッジがなくなり次第、バッジの提供は終了いたしますが、ワークブックはホームページからダウンロード可能ですので、継続してご活用ください。



フィールドマスター

マルチツールのプロフェッショナルであるビクトリノックス社とともに、突然の災害や事故にも負けずに野外でたくましく活動してほしいとの思いからこのバッジを作りました。

手先を使うナイフなどの道具の正しい使い方を学び、ケガの手当てや自分だけのハシ作り、火起こしや野外料理に取り組みます。野外で積極的に活動できる、フィールドマスターに挑戦してください。



ビクトリノックス・ジャパン株式会社

1884年にスイスで創業したマルチツールの製造・販売を行っているビクトリノックス社の日本人です。国内には直営店が約20店舗あり、キッチンツール、腕時計やバッグなども取り扱っていますが、ボーイスカウトとの接点は、やはりナイフやリーマーなど複数の機能を備えた「マルチツール」アイテムだと思えます。

ボーイスカウト・アンバサダーで宇宙飛行士の野口聡一さんに「宇宙で役に立つアイテムは？」と聞いたところ、「マルチツールである」との回答があったことからその重要性をうかがい知ることができます。

また、同社には「どうぐ体験応援団」というプログラムがあり、子どもたちへのナイフを使った体験活動教育にも力を入れています。

■ 企業担当者より

ビクトリノックス・マルチツールは、スイスの子どもたちには5歳程になると男女問わず、親にプレゼントされるのが一般的です。野外活動で便利だけでなく、創造性や手先の器用さを育むといわれています。全国のカブスカウトの皆さんにもマルチツールの多彩な使い道とナイフの正しい使い方を習得していただき、「フィールドマスター」のバッジを取得していただくと幸いです。



VICTORINOX



セーフティエキスパート

セーフティファースト（安全第一）を最も大切にしているリオティント社とともに、子どもたち自身の安全意識の向上を目指してこのバッジを作りました。

活動中や移動中、さらには家の中での安全について考えるために、いろいろな危険が隠れた日常シーンのイラストをもとに、日ごろから安全を意識することができる、セーフティエキスパートに挑戦してください。



リオティント

オーストラリアなど世界中の鉱山で鉄鉱石や銅、アルミなどの鉱物や金属資源を採掘・生産し、全世界に供給している国際的な資源会社です。日ごろは気づかないかもしれませんが、実は私たちの暮らしを大きく支えています。2015年の「第23回世界スカウトジャンボリー」では「From the Earth to my Life (大地から私たちの生活へ)」をテーマに、鉄鉱石などの重要な鉱物が鉄などの金属に形を変え、さらに加工されて自動車の一部となる一連の流れを展示し、私たちの身の回りにある資源の大切さを伝えました。また、同社は従業員の「安全と健康」を最も大切なことのひとつとしており、ジャンボリーでは熱中症予防のための啓発キットも提供していただきました。

■ 企業担当者より

大型重機などを扱うリオティントの操業現場では、作業員の安全確保がすべてにおいて最優先されます。今回の安全プログラムをとおして、「テイク5」など当社が日々行っている安全への取り組みを共有し、皆さんの安全意識を高めるきっかけとなれば嬉しく思います。合言葉は、「Safety First! (安全第一!)」

詳細は日本連盟ホームページをご覧ください。

全国の皆さまから「こんなコラボレーションがあったら嬉しい!」「僕たちこんなのでやってみたい!」といったアイデアを受け付けております。指導者だけではなく、カブスカウトからの生の声も募集しておりますので、ぜひ「なんでも応募先」(本誌奥付に記載)までご連絡ください。また、企業や団体の皆さまからの、「このような形でのボーイスカウトとのコラボレーションに興味がある!」というご提案も大募集しております。お気軽にお問い合わせください。

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

いよいよ開催まで3か月!

今月号ではプログラムの概要や見学者情報などをお伝えします。

第17回日本スカウトジャンボリー (17NSJ)

[会期] 2018(平成30)年8月4日(土)～10日(金)

[会場] 石川県珠洲市「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」

[テーマ] 「冒険～能登のチカラ未来へ～」



プログラム 関連情報

プログラムのテーマ

プログラムのテーマが決まりました。各プログラムは下記のテーマに基づいた内容となります。

テーマ1 チームワーク

進級課目と関連し、班対抗競技によりチームワークを高める。

テーマ2 カルチャー

自然や文化体験をとおして、将来のキャリア形成につなげる。

テーマ3 サバイバル

会場の広さや参加人数の多さを体感し、スキルアップを図る。

テーマ4 マリン

会場の特性を活かし、砂浜や海辺に特化した体験をする。

モジュールプログラム

各参加隊は、5つのグループに分けられ、割り当てられた5つのプログラムモジュールに半日単位で参加します。また、班対抗プログラムは、最少5人、最多8人で参加し、4人を下回る場合は、その場で混成班を組んで参加します。



サターン

[場所] 多目的広場、野球場



ジュピター

[場所] 文藝館西



アース

[場所] テニスコート、グラウンド・ゴルフ場



ヴィーナス

[場所] わくわく夢らんど



マーキュリー

[場所] 鉢ヶ崎海水浴場

ジャンボリーゲーム日本一

18NSJ、19NSJに継続していくプログラムとして、「ジャンボリーゲーム日本一」を実施します。ジャンボリーゲーム日本一では、スカウトスキルを用いた次の4種類の班対抗ゲームを行い、日本一を決めます。成績優秀班(第1位、第2

位、第3位)を称え、閉会式前に表彰式を行い、特別な記章を授与します。

日本一を目指して、準備訓練を行ってください(ルール等は、大会ホームページにて更新していきます)。

1. 通信(手旗信号りレー)
2. 結索(班旗立て)
3. キャンピング(火起こし)
4. コンパス(コンパスナビゲーション)

エキスカージョンプログラム

会場から離れて、能登の自然や文化、技術などを学びます。バスを使用する場外の有料プログラムで、8月6日(月)と8日(水)の2回実施します。参加希望者の事前申し込み制で、バス代や施設入場料等の参加費を事前に納入します。また、参加の際は参加隊指導者が引率してください。参加申し込みは5月1日(火)から31日(木)までを予定しています(4月13日現在)。



プログラム参加による 進級課目等の認定について

大会の各種プログラムへの参加、サブキャンプでの生活や班活動を通じて、進級課目や信仰奨励章の細目の修得につながる機会があります。大会のプログラム参加が進級の励みとなるよう、参加隊でもスカウトの進級に応じた取り組みをお願いします。

自団の隊のまま参加し、所属の隊長や班長がいる場合には、会場で履修を確認してサインを受けます。派遣隊方式や所属の隊長や班長がいない場合には、所属隊に帰ってからサインを受けることになりますので、会場での履修を大会のハンドブックに記録するよう奨励してください。

大会ソング

大会ホームページを通じてテーマソングを公募したところ、全国の加盟員・非加盟員からたくさんの応募がありました。17NSJ 実行委員会での審査の結果、次の作品が選考されました。

テーマソングは、隊や班での歌唱を想定し、覚えやすく、

■大会テーマソング



能登のチカラ未来へ

作詞: 田中 杏奈
(福岡県連盟・北九州第55団)
作曲: 田中 秀幸
(福岡県連盟・北九州第55団)
編曲: Pants Gonzales 哲朗
(UNBRANFORD)

無伴奏でも楽しく歌え、会場でも全員で歌えるものを選考したほか、楽曲として優れた作品を会場や映像資料等で活用するイメージソングに選考しました。

大会ホームページ等で楽曲を公開していますので、事前訓練等で練習しましょう。

■大会イメージソング



HORIZON (ホライズン)

作詞・作曲: Pants Gonzales 哲朗
(UNBRANFORD)
編曲: UNBRANFORD

見学者情報

今大会では、多くの見学者を募集しています。まだ参加対象になっていないカブスカウトや保護者の方など、ぜひ皆さんで計画を立て、会場にお越しください。チケットは大会ホームページより購入できます。

1人1日 **1,000円** (事前申し込み)
1,500円 (当日受け付け)

※ 8月7日は事前申し込みのみ。

※ BS 石川県連盟所属の方、石川県や珠洲市にお住まいの一般の方は別途設定があります。

※ 1日の最大人数2,000人を超えた場合は期日前に受け付けを終了することがあります。



見学日程

日程	見学時間帯	主な行事
8月5日(日)	13:00~21:00	設営(午前)、開会式(夜間)
8月6日(月)	9:00~16:30	プログラム
8月7日(火)	13:00~21:00	信仰奨励(午前) ジャンボリー大集会(夜間)
8月8日(水)	9:00~16:30	プログラム
8月9日(木)	9:00~21:00	プログラム、閉会式(夜間)

宿泊

見学者は会場内には宿泊できません。見学に際して宿泊が必要な場合には、見学者自身で手配をお願いします。大会による宿泊斡旋は行いませんので、周辺の宿泊情報については、珠洲市や石川県の観光情報サイト(大会ホームページにリンクあり)をご参照ください。

※ 見学者に関して諸条件がございますので、大会ホームページの見学者向け情報を必ずご確認ください。

大会スマートフォンアプリ配信開始

大会スマートフォンアプリのiOS版、Android版を配信しました。さまざまな情報を集約するこのアプリは、大会ホームページ同様、さまざまな情報を取得できるほか、デジタルマップや各SNSへのリンクなど、アプリならではの機能がついています。参加の有無にかかわらず、ぜひインストールしてください。



各OSのアプリストアで「ジャンボリー」などで検索するとダウンロードでき、大会ホームページからもダウンロードできます。なお、会場付近は多くの人が通信をしますため、会期前のインストールをおすすめします。



ジャンボリーに関する最新情報は、
大会ホームページをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/17nsj/>

第45回

全国ボーイスカウト 写真コンテスト 入賞作品発表!!

📷: 撮影者作品コメント 🗣️: 審査委員長のコメント ✨: 応募者の所属隊等は応募時のものです。

少年の部 【応募総数 238 点】



最優秀

『さあ、いくぞ』

庄田 拓朗
静岡・三島第5団 カブ隊

📷 もちつき大会でとりました。下からとったのではくりょくがあります。

🗣️ 下から撮ったという狙いははっきりしているのが、最優秀賞の要因です。餅つきをしている少年と、こねる係の指導者の表情が素敵です。こねる係の人はかっこよく見せようとポーズをつくって、少年が杵を持って真剣な顔で、そのそばで手をこまねいて見ている指導者。三者の表情のバランスのおもしろさ、こういう瞬間を撮ったというすばらしさ。演出もあるのかもしれないが、うまく画面に構成されています。撮影者は写真をよく撮っているのではないのでしょうか。画面構成のおもしろさが計算に入っている。その計算したものが写し出されているところにうまさがあります。



『カブ隊の子に手旗指導』

🏆 氏家 慶明
東京・西東京第2団 ボーイ隊



『右足は美濃の国、左足は近江の国』

🏆 柳川 悠
岐阜・岐阜第6団 カブ隊



『一級キャンプへ』

🏆 佐藤 春樹
京都・長岡第2団 ボーイ隊



『ゴールは近いぞ！力を入れて。』

🏆 釜坂 月菜
兵庫・姫路第6団 ボーイ隊



『気持ちこめて、ユニセフ募金』

🏆 佐藤 愛菜
兵庫・姫路第6団 ボーイ隊



『真剣に教える救急法』

🏆 田中 佐也加
兵庫・姫路第6団 ボーイ隊



『元気すぎる一組』

🏆 田原 陸矢
福岡・北九州第55団 カブ隊

Canon



少年の部
PowerShot
SX620 HS



青年・成人の部
EOS M100
EF-M15-45 IS STM
レンズキット

今年の写真コンテストは、昨年に引き続きキヤノン株式会社にご提供いただきました。「少年の部」「青年・成人の部」それぞれの最優秀者にお贈りいたします。ぜひ、今後の活動の中でもカメラに親しんでいただき、魅力あふれる活動の瞬間を写真に収めていただければと思います。



『そなえよつねに』

帯津 将太 山梨・甲府第6団 カブ隊

📷 防災キャラバンでレスキュー隊の人に救助の仕方を教えてもらいました。いつどこで何があるか分からないので、もっとたくさんの方を知りたいです。

🗣️ 教える指導員と子どもたちが真剣になって覚えようとしている雰囲気一枚の写真で表現されています。青年・成人の部に同じ情景の写真がありますが、こちらの写真の方が指導員が指導している光景を、より正確に写しとれているところがよかったです。脈拍を計る指導員に集まる全員の視線が写し込まれている、その訓練の状況を正確に写し込んでいるところがすばらしい。



『森が大好き、ビーバーたち。』

上田 ひより 姫路第6団 ボーイ隊

📷 ビーバーたちは、森の中で自由に遊ぶのが大好きなようです。

🗣️ 画面構成的に非常にうまい。3人それぞれの表情があって、左側の少年は計算に入っていなかったと思うけれど、その帽子があることによって画面が自然な雰囲気を感じさせています。本人は計算していなかったと思うが、結果としてよかった。自然の中で活動するビーバーたちの活動ぶりが一枚によく表現されていて、それぞれの表情も素敵です。仲良しの印象が3人の表情に出ています。

青年・成人の部 [応募総数 145点]



『水風船キャッチ』

北川 勝久
富山・南砺第3回ボーイ隊 隊長

📷 水風船キャッチゲームで見事(?) キャッチした瞬間

📝 水風船を投げられた瞬間を、おそらく連写で撮った中の一枚だと思います。連写ではなく一枚だけでこれだけのものを撮ったなら大変まい、写真のベテランの方じゃないとできません。キャッチした瞬間に水風船が割れて水が飛び散っている動きのすばらしさを一枚の写真に表現しています。子どもが楽しんでいながらおそるおそるやっている。その印象がなんともかわいい表情になっています。



『3人で滑ればこわくない?』

飯田 健
埼玉・吉川第1回 関係者

📷 仲良く3人1列でソリ滑り。3人で滑ればこわくないと楽しむ後ろ2人と対称に表情が強張る先頭の子のギャップが可愛いです。

📝 傾斜の感じを画面に出すことで、動きを感じさせます。滑っていくそれぞれ三者の表情が、よく写されています。撮影者の言うとおり、先頭の少女は緊張気味で、後ろの2人の表情には滑っている楽しさ、冒険をしている楽しさが写し出され、子どもたちの楽しさが表現されています。少々露出がオーバーになっているのが気になります。もう少しアンダーになると手前の冬の芝生と空の色が鮮やかに写し込まれると思います。



『きっと「鳥の目線」で』

丹生 克生
和歌山・橋本第2回ベンチャー隊 副長

📷 この瞬間、彼は鳥と同じです。美味しい物を見つけた時の気持ちはきっと人も鳥も同じなのでしょう。もぎたて新鮮いただきます!

📝 少年の真剣な表情がクローズアップされているのが良いです。カメラアングルが上になっているので、一層真剣な表情が写し込まれていると同時に、左にいる保護者?の少年を見つめる表情が、真剣な眼差し少年と対照的でおもしろいです。カメラのアングルを上から狙ったことで、画面構成をうまくまとめています。画面からひとつのドラマを感じさせるというのも成功の理由だと思います。



『夏キャンプ、ニジマス1匹』

『掲揚場~カブスカウトだってできるよ~』



原島 圭子
東京・小金井第2回 保護者



小竹 雄士
神奈川・大和第1回ベンチャー隊 隊長



『ぼくもチャレンジ』



小田切 岳志
山梨・甲府第6回カブ隊 副長



『放水開始!』



芦澤 敬三
長野・長野第15回カブ隊 副長



『きのぼり』



畑 仁美
滋賀・栗東第8回カブ隊 副長



『高くて怖いけど、一緒だと楽しい!』



山本 泰正
京都・京都第82回カブ隊 隊長



『友情のむすびめ』



佐野 正徳
福岡・北九州第3回 副団委員長



審査委員長
田沼 武能 氏

たぬまたけよし / 東京写真工専卒業後、木村伊兵衛氏のもとで修行、その後フリーに。高度成長期以前の東京下町の暮らしなどを撮影する。その後活躍の舞台を世界にひろげ、各国の子どもの写真を撮り続けている。1995年より2015年まで日本写真家協会会長。紫綬褒章など受賞多数。少年時代、現在の台東第1回(東京第2隊)の前身大谷健児団でボーイスカウト活動に参加。

■野外活動のための安心・安全講座

2016(平成28)年度

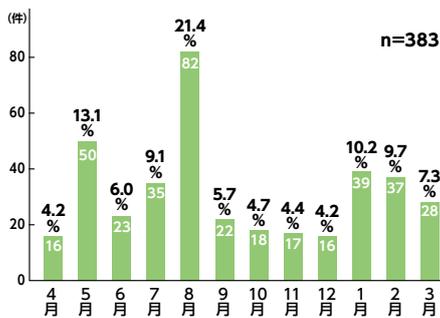
そなえよつねに共済 事故データ分析

「そなえよつねに共済」で取り扱った事故データを分析した結果がまとまりましたので報告いたします。2012年度から全加盟員が保険(2014年度からは共済)対象となり、ボーイスカウト全体における事故の傾向が把握できるようになりました。事故発生件数(報告件数)は昨年より23件多い383件で傷病の延数は560件でした。いくつか気づいた点をコメントしましたので、安全管理の参考にいただければ幸いです。

発生月別

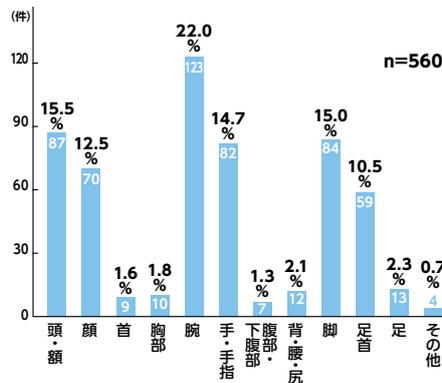
8月の事故発生率が最も高く、全事故件数の21.4%を占めています。8月の事故を分析すると、切り傷、骨折、打撲など野外活動中のケガが多く発生していますが、それ以上に多いのは虫刺されです。8月に起こる事故の約40%が虫刺されによるものです。

1月から3月にかけての事故発生率も高く、104件で全事故件数の27.2%を占めています。このうちスキー、スノーボード、スケートによる事故は61件報告されており、1月から3月にかけての事故発生件数の58.7%を占めています。事故の内容は81.7%が骨折、捻挫、打撲など深刻な傷病を負っています。



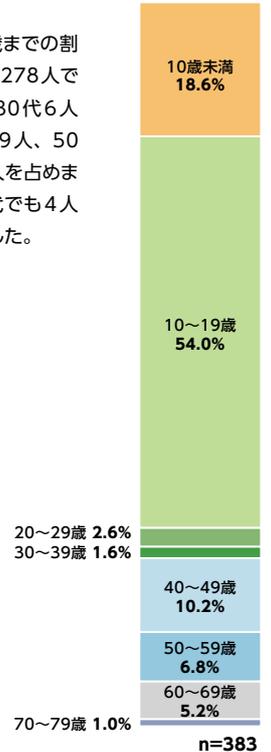
部位別(延数)

上肢および下肢のケガが全体の64.4%と例年より低い結果となっています。それに対し、頭部のケガが約30%と昨年比10%、件数で59件増となっています。頭部のケガは転倒によるものがほとんどです。



年代別

年代別では、19歳までの割合が72.6%にあたる278人でした。20代10人、30代6人と少数ですが40代39人、50代26人、60代20人を占めました。今年度は70代でも4人の事故報告がありました。

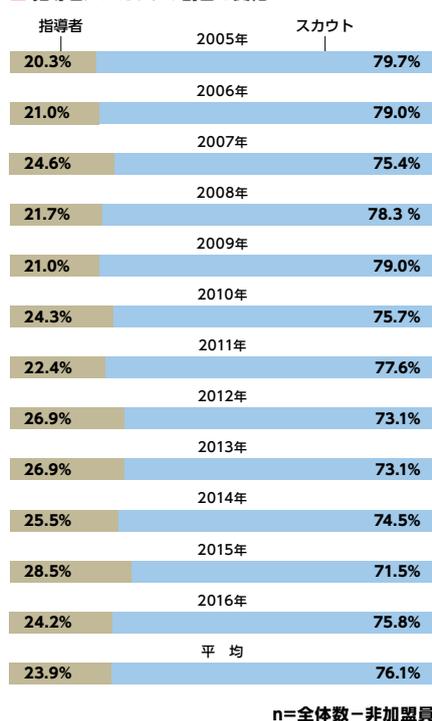


部門別

部門別の傾向はほぼ例年と同じでカブスカウトとボーイスカウトがそれぞれ3割ずつを占めています。全事故に占める指導者の割合(非加盟員を除く)は23.5%と昨年より改善しています。ただし、傷病で見ると例年と同様骨折や脱臼など重症化する傷病が目立ちます。



指導者/スカウトの割合の変化



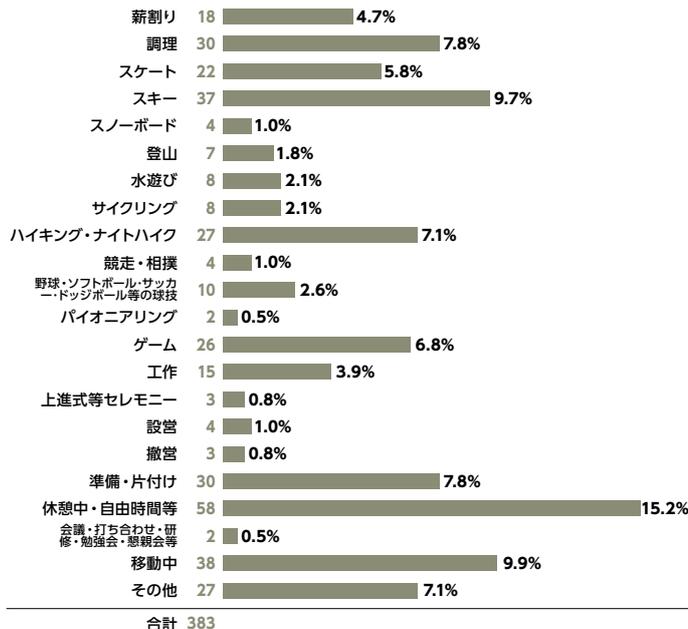
部門別上位3傷病

	1位	2位	3位
ビーバースカウト	打撲 (6件)	切り傷/骨折 (各5件)	擦り傷/歯牙欠損 (各3件)
カブスカウト	骨折 (35件)	脱臼 (23件)	擦り傷 (17件)
ボーイスカウト	骨折 (34件)	打撲 (23件)	切り傷 (21件)
ベンチャースカウト	骨折/打撲 (各6件)	擦り傷/脱臼等 (各5件)	刺し傷/裂けた傷/やけど/歯牙欠損 (各3件)
ローバースカウト	脱臼・捻挫等/打撲 (各3件)	刺し傷/骨折/やけど (各1件)	—
指導者	骨折 (41件)	脱臼・捻挫等 (24件)	打撲 (17件)

活動内容

ビーバースカウト部門での事故1位は「休憩中・自由時間等」で8件、2位は「移動中」で4件でした。昨年同様指摘しましたが、休憩時間や自由時間が事故の多発する時間帯であることを認識していただき、安全に十分配慮した見守りや準備を行ってください。

カブスカウト部門での事故1位は「休憩中・自由時間等」で26件でした。このうち13件が骨折です。次の行動に移るまでのほんの少しの時間にスカウト同士で遊んでいる状況で発生しています。2位は「ハイキング・ナイトハイク」で13件でした。



ボーイスカウト部門での事故1位は「調理」で16件でした。このうち12件は「やけど」です。服装や活動時の周辺に気を配ることで減らすことができる事故だと考えられます。第2位は「スキー」で15件でした。

ベンチャースカウト部門での事故1位は「調理」「サイクリング」「移動中」でそれぞれ4件でした。昨年同様指摘しましたが、移動中の4件のうち3件は自転車によるものです。今一度、自転車の乗り方や整備の方法を学習する機会を設けることを推奨します。

ローバースカウト部門での事故1位は「ゲーム」で2件です。1位以外にもいえることですが、他部門の支援中に起きている事故がほとんどです。

指導者の事故1位は「準備・片付け」で15件でした。この中で注目すべきは道具を使っているときの事故が多いことです。普段使い慣れていない道具を

使用していてケガをすることが考えられます。事前の危険予知を十分に行うなど対策をとってください。2位は「移動中」で13件でした。

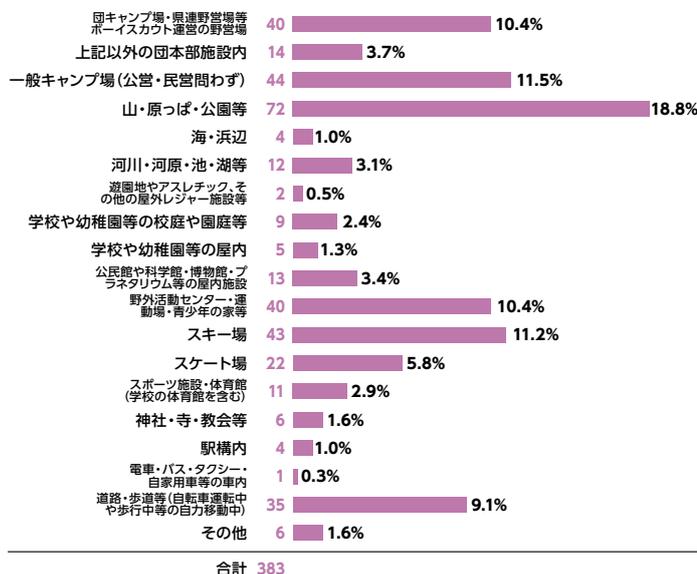
■ 部門別 最も事故が多かった活動内容

部門	プログラム
ビーバースカウト	休憩中・自由時間等 (8件)
カブスカウト	休憩中・自由時間等 (26件)
ボーイスカウト	調理 (16件)
ベンチャースカウト	調理・サイクリング・移動中 (各4件ずつ)
ローバースカウト	ゲーム (2件)
指導者	準備・片付け (15件)

発生場所

事故が最も多かった場所は「山・原っぱ・公園等」で72件でした。この72件のうち、傷病としては骨折が最も多く24件でゲーム中によるものです。登山やハイキングでの事故件数よりも上回っています。

「一般キャンプ場」「スキー場」などでの件数が多いことから、夏季と冬季の事故が多いことがわかります。

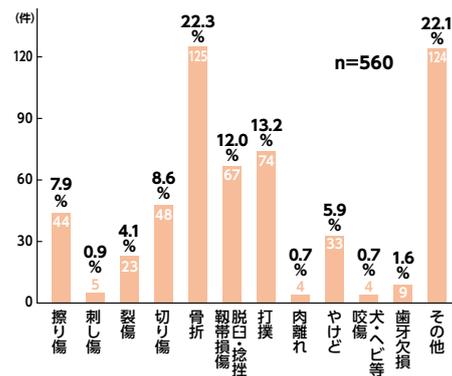


傷病別(延数)

傷病別では「骨折」の割合が増加に転じ、昨年より17件増の125件で第1位でした。第2位は「打撲」で昨年の80件から6件減少の74件でした。第3位の「脱臼・捻挫・靭帯損傷」は昨年の91件から24件減少の67件でした。これら3傷病で全傷病の47.5%を占めています。

「やけど」が昨年より21件増加の33件でした。これは2010年以降で最大の件数です。やけどの原因は火の粉がかかった、鍋のお湯がかかったなどでした。服装や周囲の安全に気を配ることが必要です。

「その他」はここ数年と同様、虫刺されによるものが多いのですが、マダニやブヨによる件数が多くなっています。



まとめ

共済事業に移行して3年目、全体的な傾向は変わっていませんでしたが、いくつか気になる点があります。

まず第一に、全事故発生件数のうち指導者の事故が24.2%となり5年ぶりに25%を下回る結果となりました。これまでも指導者の事故が多く増加傾向であることをお知らせしてまいりましたが、皆さんがこれらのデータを活用いただき、活動前の入念な準備と自らの状況に応じた活動を行っていただいた成果だと思います。

第二に、受傷部位として頭部(頭、額、目、顔、口、唇)の件数が157件で著しい増加がみられます。ビーバースカウトでは休憩中の遊びでの事故、カブスカウトでは舎営での2段ベッドからの転落、ボーイスカウトではスキー中の転倒が多くみられます。頭部外傷は頭痛やめまい、嘔吐、記憶障害やけいれん発作などが起こります。さらに重症の場合は命に関わる可能性があります。

十分な予防対策をとることを前提に、さらに万が一の場合の対応を指導者として十分把握し活動を行うことが必要です。

第三に、虫刺されの報告が多くなっています。例年はハチによる被害を取り上げますが、今年はマダニによる被害が目立ちました。また、被害者は同じ隊で複数出ることもあります。服装や宿泊先の衛生管理などを心がけましょう。

最後に、プログラム外での事故が相変わらず多い状態が続いています。いくら楽しい活動でも、プログラム外でケガをしてしまったりはスカウトも指導者も悲しい思いをしてしまいます。こういったことを未然に防ぐためにも、事前の準備をしっかりと、常に安全に対する意識と目をもち、日々活動していただきたいと思えます。

「清流の国ぎふ」

平成30年度 全国大会

日程／平成30年5月26日(土)～27日(日) 場所／岐阜・長良川国際会議場 他
 テーマ／Creating a Better World (より良い世界を創ろう) ～活動的で自立した青少年を育てよう!!～

全国大会として14回目の開催。開催地である岐阜県は昭和13年に「少年団岐阜県連盟」を結成し、戦後に日本連盟が再結成されたときの1、2番目の登録が岐阜県連盟の隊でした。歴史ある地で、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた研修や情報交換の場として開催します。



■ 全国スカウト教育会議 (テーマ集会)

5月27日(日) 9:00～11:30 / 長良川国際会議場

テーマ① スカウト増加のための団・隊の取り組み
～団、隊での成功例から～

テーマ② 「ボーイ隊のプログラム立案」と「BS・VS 部門の見直し」

テーマ③ 国際活動サービスチーム集会和海外派遣報告会

テーマ④ 10万人のチカラを合わせスカウトの魅力を発信しよう(広報戦略)

テーマ⑤ ローバースカウト活動とRCJについて

テーマ⑥ 教育研究プロジェクト「スカウティングを科学する」

テーマ⑦ 指導者に必要なスキルとは～ウッドクラフトを通じて～

テーマ⑧ そなえよつねに～防災・減災の視点～

テーマ⑨ セーフ・フロム・ハーム(思いやりの心を育む教育)について

テーマ⑩ スカウト活動とアレルギー

■ スカウティングエキスポ (展示、体験コーナー他)

スカウトショップはもちろん、各県連盟やスカウトクラブ、さまざまな体験のブースなどを展開します。皆さまのご参加をお待ちしております。

5月26日(土)～27日(日) / 長良川国際会議場

■ 主会場／長良川国際会議場

[〒502-0817 岐阜市長良福光2695-2]

■ 交歓会／岐阜グランドホテル

[〒502-8567 岐阜市長良648]

※本誌2018.3月号でのご案内から変更になりました

■ 主催／公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

■ 開催県連盟／日本ボーイスカウト岐阜県連盟

■ 後援／岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市、岐阜市教育委員会

■ 協力／陸上自衛隊第10音楽隊、岐阜県ユニセフ協会、ガーバーサカイ(株)、(株)マルエイ、中部事務機(株)、テックミズノ(株)、濃飛倉庫運輸(株)

■ 参加費／¥3,000

(資料代および記念品代含む)

■ 交歓会参加費／¥10,000

(5月26日18:30～)

大会特設ホームページ <https://www.scout.or.jp/h30zt/>

スカウティングの 知っててちょっと良い話 No.48

ボーイスカウト日本連盟 常務理事 吉田 俊仁

君は「ボブ・ア・ジョブ」を知っているか？

ボブ・ア・ジョブ (BOB A JOB) を皆さんは知っていますか？ また、実践したことがありますか？

このボブ・ア・ジョブについて、B-P は次のように書いています。「ある日、スカウトがやってきて、どんな仕事でもよいから1シリングでやらせてくださいと申し出た。その時私は妻に、芝生のごみでも拾ってもらおうかといった。ところが、妻が買物から帰って3人のスカウトから手渡された勘定書きには、裏庭の整地代3シリングとあった。」(「B.-P.'s Scouts」より)

「仕事」は英語ではジョブ (job)、英貨のシリングは別名をボブ (bob) といいます。すなわち、ボブ・ア・ジョブとは、何か1つの仕事をして1人1シリング (現在でいえば、約61円) をもらうことです。これは、スカウト自身の勤労によって、ボーイスカウト運動の資金を作ろうという、1949年イギリスで始まった運動の名で、毎年復活祭 (イースター) に行われ、それを運動の資金にあてるのです。昔のスカウト運動が資金不足に悩まされていたことから起こった運動であったのです。

第1回のボブ・ア・ジョブ週間に、各地のスカウトたちが「仕事をします」と呼びかけると、多くの人々は、このスカウトの活動の趣旨に共

鳴して、快く仕事を見つけてくれました。連盟本部は何千ポンド、地区や団も何万ポンドもの収入が得られました。以来、このボブ・ア・ジョブは年中行事の1つになったのです。

さて、このボブ・ア・ジョブを我が国で初めて行ったのは、1962年5月1日でした。私が茨城県取手市でスカウトであった1963年頃には、草餅を作る「よもぎ」を班ごとに利根川の土手で採取して、お餅屋さんに行き、班や隊の活動費にしました。

現在でもこれを大規模に実施しているのが、アメリカ連盟です。米国のガールスカウトがメーカーとタイアップして「クッキー」を販売していることにヒントを得て、ボーイスカウトは「ポップコーンビジネス」を全米で展開しました。収益は日本でいえば県連盟と団のみに入ります (本部には入らない)。現在、日本ではボブ・ア・ジョブは実施していません。ぜひ各県連盟や団で「勤労行事週間運動」などとして実施内容や方法を検討して、ボブ・ア・ジョブを展開してみたいかがでしょうか。



アメリカ連盟のポップコーン



日本連盟創立100周年に向けて ボーイスカウト再興への道

シリーズ(3) 登録料改定の真意



昨年5月の全国大会における奥島理事長の「非常事態宣言」に端を発して、10月の理事会で「日本連盟100周年財政ビジョン提言書」が承認され、これに基づいた日本連盟財政再建のための施策の一つである「登録料の改定」が、本年3月に開催した臨時評議員会で承認されました。本シリーズで前号まで見てきた加盟員減少という厳しい現状下での登録料の改定には、さまざまなご意見があるかと思いますが、改革を進めるための今回の改定についてご理解いただくべく、その真意をお伝えしていきます。

ボーイスカウト日本連盟のこれまでの財政状況

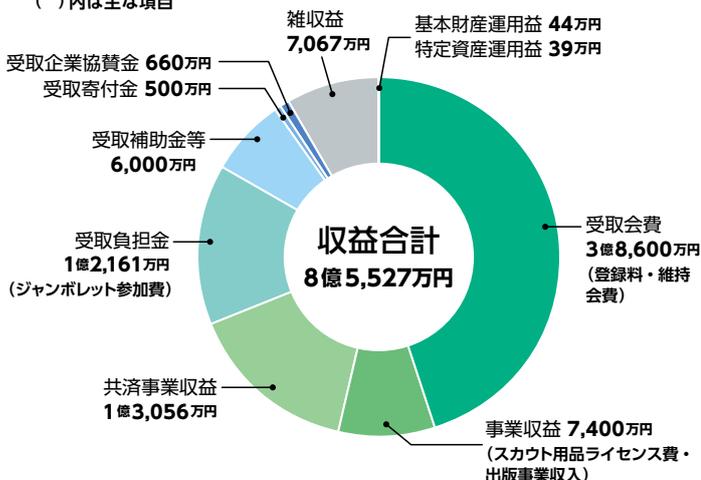
長年にわたる加盟員数の減少は、日本連盟の運営を厳しいものにしてきています。2012年に登録料の改定を行いました、連盟の財政は実際には厳しい状況が続いていました。23WSJをはじめとする大規模事業の収支が重なる公益財団の会計方式の特異性もあり、連盟の単年度の収支実態が正しく認識しづらく、また、当時予測した加盟員数の見込みに対してそれを上回る加盟員減少も相まって、累積赤字が大きく積み重なってしまったのです。財務委員会が昨年編成した「100周年財政ビジョンワーキングチーム」の分析により、財政再建のための明確な施策が早急に必要事態にあるということが明らかになってきました。

スカウト運動再興に向けた最大の課題は加盟員の増強

財政の立て直しのためには、さまざまな経費の削減や事業の縮小など支出を抑える取り組みとともに、寄付や募金、協賛金の強化、施設利用の促進など収入を増やしていく取り組みが欠かせません。しかし、日本連盟の最大の財源は登録料(下図の「受取会費」)であり、加盟員の増加が財政の健全化に直結するといっても過言ではありません。加盟員を増やすことは班制教育の活発化に繋がり、スカウト運動の社会認知度も上がるでしょう。その結果として加盟員をさらに増強し、より力強く本運動の目的である「青少年の健全育成に寄与」してこそ、スカウト運動の再興となるのです。

2017(平成29)年度予算

()内は主な項目



100周年に向けての加盟員数目標

日本連盟では、財政再建策の基礎とするべく、昨夏、全都道府県連盟に「100周年までの加盟員数」の見込み調査を行いました。およそ1か月間という短期間での調査依頼にもかかわらず、すべての県連盟から回答があり、その多くは日本連盟での予測値よりも高い数値、いわば目標を掲げてくれました。これらを基にさらに減員予測も含めたさまざまな要素を

加味して100周年に向けての全国的な加盟員数の数値予測を設定し、財務委員会ではこの人数に基づいて必要となる財政の見直しを行いました。

2022年(100周年)までの加盟員予測数

年	2018	2019	2020	2021	2022
スカウト数	53,967	56,641	57,220	58,358	61,615
指導者数	46,775	41,865	41,726	41,999	43,385
合計	100,742	98,506	98,946	100,357	105,000

一時的に10万人を割り込みますが、2021年には10万人台に戻し、2022年には予測の基礎となった2017年のレベルまで回復させ、その後は増員傾向を伸ばしていこう、というものです。

加盟員予測数に基づく財政再建策

国債の不動産化による収入増、大会等の参加者負担金の増額、企業協賛の強化等、さまざまな具体的財政再建策をとるなか、そのひとつとして登録料の値上げを提案しました。理事会および評議員会の承認により、登録料は2019年4月から、スカウト4,000円、指導者8,400円といたします。この金額は、加盟員予測数に基づき設定したのですが、仮にこの予測を上回る加盟員数となった場合には、登録料の値下げも検討する「総収入リンク型」の見直し案ともなっています。

加盟員数増に向けての具体的な取り組み

上記の加盟員予測数は、全県連盟から寄せられた回答にさまざまな要素を加味したもので、上向きとなる数は「中途退団抑止策の効果」を見込んでいます。これは、2016年から取り組んでいる「PR計画」による新規加入者の増加策を補うものとして、「中途退団・非継続の数を減らすための施策」に、ある程度の予算をかけて取り組んでいこうというものです。これこそが、財政再建計画の最大の要となります。

今年度から「中途退団抑止特別委員会」を立ち上げ、施策に取り組んでいきます。その大きな柱として、コミッショナーや組織拡充担当の経験者等でチームを編成し、県連盟・地区を訪問して、地区や団が実際に直面しているさまざまな困難をともに乗り越えていくための具体的な支援をしていくことを構想しています。今までそうした支援の取り組みの必要性が謳われてはいたものの、そのために人が動く経費はないという状況でしたが、ここに組織を挙げて本気で取り組んでいくべく、5か年の予算を組みます。全国に足を運んで皆さんと一緒に考え、力を合わせてきめ細かな対策を講じていこうという計画が、具体的に進められようとしているのです。

10万人を割り込むかという日本のスカウト運動存続の危機に立ち向かっていく最後のチャンスです。真に意義のあるスカウト運動起死回生のための活性化に向けた施策に、組織を挙げて取り組んでまいりますので、ともに力を合わせてスカウト運動再興の道を進んでまいりましょう!

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

北海道 □ 発団60周年記念式典開催

札幌第12団 団委員長 長尾 恒

3月11日(日)に札幌市北区にある麻生総合センターで発団60周年記念式典を開催しました。

当日は、7年前に東日本大震災が起こった日ということもあり、献花・献灯や黙とう、国歌斉唱などが厳かに営まれ、式典がスタートしました。続く祝辞でみなさまからいただいたお褒めの言葉や、北海道連盟から授与された記念楯は、これからの札幌第12団にとって、大きな励みとなりました。また長期継続のスカウトと団委員の方には、式典の場を借りて感謝状を手渡すことができました。「長く」ということは大切なことですが、同時にむずかしいことだとも思います。継続に感謝です。

後半の祝賀会では太鼓演奏や各隊のアトラクションなどが披露され、会場には笑顔があふれました。社会人となったOBたちのスピーチには、貴重なメッセージが込められています。彼らの話を聞いていると「ボーイスカウト活動に即効性はない」のだと改めて認識できました。

一人ひとりが行う小さなことの積み重ねが、きっと次の時代においても活動の支えとなっていくことでしょう。



東京 □ 法政ローバース春合宿

千代田第8団 ローバースカウト 高橋 知希



千代田第8団(法政大学ローバース)では、3月9日(金)から13日(火)の日程で春合宿を実施しました。目的地は奄美大島の油井小島という無人島。

40人ほどの参加者を7班に分け、指定集合日の9日までは班ごとに自由行動。僕の班では青春18きっぷを使い、3月5日(火)から4泊5日のグルメ旅(東京~博多間)をして集合場所を目指しました。ヒッチハイクや沖縄観光

をする班もあり、それぞれの班の内容が今後の企画への参考となり、刺激になりました。

無人島での生活では、ドラム缶風呂やキャンプファイアなどで自然を感じるとともに、仲間と一緒に知恵と工夫を凝らして自分たちで作りあげた楽しい思い出ができました。

新年度を迎え、これからは僕たち2年生が中心となっていきます。もっと活動を盛り上げていけたらと思います。

新潟 ■ 連盟長を囲んで

新潟連盟 理事長 南雲 重孝

新潟連盟では、3月21日(水)に新潟県立生涯学習推進センターにおいて、県下代表スカウト125人が参加する「連盟長を囲む会」を開催しました。同会は「県内スカウトの社会貢献・奉仕活動の成果発表」を行う場として開催したもので、その企画運営はすべてVSとRSが担当しました。

今回の代表スカウト4グループは、緊張の中にも、ときには地域の方々とのユーモア溢れるエピソードも交えて発表を行い、参加者も笑顔で聞き入る和やかな雰囲気の中で会場が包まれました。連盟長である新潟県知事からコメントと激励をいただき、参加スカウトは充実した一日を過ごしました。



信仰奨励

スカウティングに
不可欠な信仰

信仰奨励委員会 鈴木 卓也

もう3年も前になりますが、第23回世界スカウトジャンボリー信仰奨励ゾーンに、世界スカウト機構が掲示したB-Pの言葉(第4回国際会議 スイス・カンダージュテーク 1926年)を見たとき、「私たちスカウトがすべきことは、神のもつ平和と神のもつ善意がこの地上に満ちるように尽くすこと」と気づきました。

ただ単に平和を願い、周りの人を助けようと頑張っても、私たちの思いは仲間内しか及ばないことが多いと思います。仲間の平和を守るために、ときには他の人を傷つけてしまったり、攻めてしまったりすることもあり得ると思います。そんなとき、何が善なのか、何が正義なのか分からなくなってしまうこともあります。

本当の平和であり善意は、すべての親である神のもとに平和と善意が行われなれないといけない、ということはこのB-Pの言葉から学ばせていただきました。

B-Pがスカウト運動における信仰の大切さを説かれたその意味を、恥ずかしながら再認識させられました。

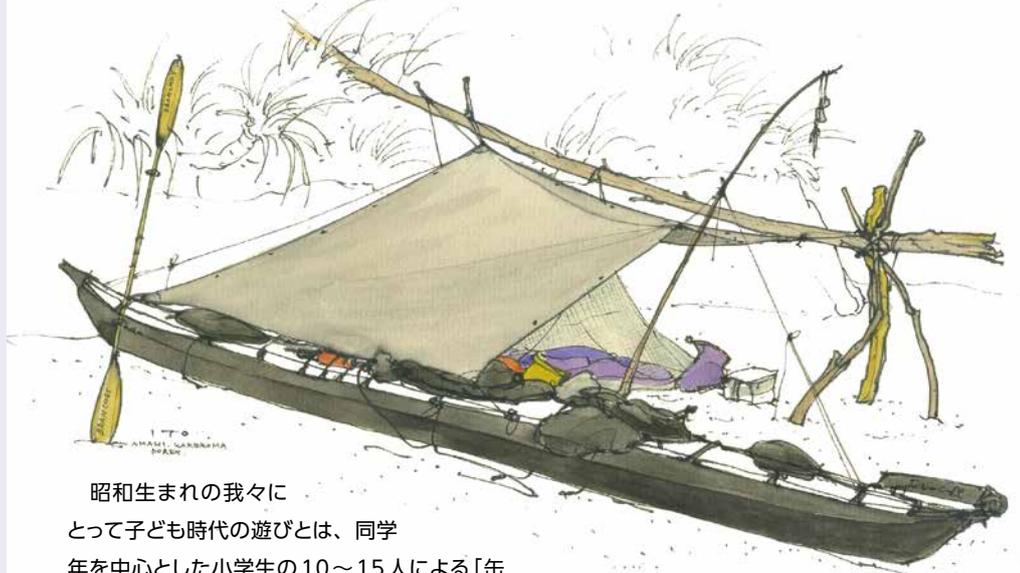
参考 B-Pの言葉(第4回国際会議にて)

「スカウトのちかいは、君主や国に対して果たすべきつとめを二義的なものとしか見ていません。何よりも大切な第一のつとめは、神に対してです。私たちスカウトは、このつとめを大切にしているからこそ、また、神が私たちすべてのものにとって唯一の父であると認めているからこそ、国や信条や立場の違いがあろうとも、兄弟同士であり得るのです。

私たちスカウトは、国のために尽くすよりももっと大事な使命があることを自覚しています。それは、神の国の発展に尽くすことです。神のもつ平和と神のもつ善意がこの地上に満ちるように尽くすことです。

スカウト運動では、さまざまな宗教団体が尊重され、それらの積極的な活動も奨励されています。私たちの信じる兄弟愛の理念がすべての国々に広がっていけば、お互いを信頼し、理解していく心が育っていくのではないのでしょうか」

外で遊ぶこと、その学び。



昭和生まれの我々に

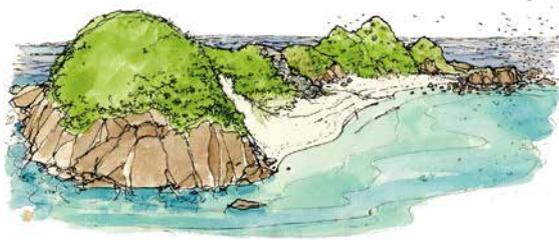
とって子ども時代の遊びとは、同学

年を中心とした小学生の10～15人による「缶蹴り」や「チャンバラ」「三角ベースボール」など集团的遊びが主体だった。その中で1学年の遊びの幅の違いは大きく、常に上級生が下級生に「遊びのコツ」を教え、助けることが当たり前で、野原での「かけっこ」や河原での「泳ぎ」や「魚釣り」「火起こし」そして「秘密基地作り」をはじめ、あらゆる遊びでの「道具の使い方」や「遊びのコツ」は、町内の幼稚園児まで伝わるのだった。

特に男の子は幼児期の三輪車に始まり小中学生での自転車、高校生ではオートバイ、そして社会人になると自動車と、その成長とともに出会い手に入れる道具を通じて遊び、その行動範囲を広げていく。

アートディレクター & デザイナーとして某モノ雑誌の発行社で、アウトドア特集のアドバイザーを担当していた30年前、シーカヤックを知り一人旅を始めたころ、まだ日本にはシーカヤック先駆者は一人もおらず、すべてが独学の世界だった。

その後独立してアウトドア雑誌『アウトドア・イクイップメント』の創刊に携わり、シーカヤックの日本での普及に力を注ぎ、多くの若者たちをシーカヤックによるバックパッキングとして海旅の世界へと誘った。



イラスト&文：伊東孝志

いとうたかし／南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する、奄美大島生まれの小学56年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先に北斎を見つめ、水彩の楽描(らくがき)を糧として、奄美・沖縄・東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。

●伊東孝志ブログ「道草楽描／みちくさらくがき」～<http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

子ども時代から「野外」で遊び慣れ親しんでいると、あらゆる場面で、雨風をはじめ河原や海辺での陽射しや風除けなど、天候の変化への対応力も自然と身につくものである。

その海旅の基本には、キャンプサイトでの新集めに始まり、火起こし、雨や風の読み方、タープやシェルターとしてのテント設営、陽射しとのつき合い方や太陽の角度を見て、日没までの時間の使い方、そして人工的な灯のない暗闇での過ごし方、やるべきことなどをはじめ、子ども時代の遊びから学んだ多くの体験が必要だった。

海の上、ましてや一人旅で常に状況判断が求められる世界では、自分を中心とした半径10～20kmの世界を上空から観るような鳥瞰の感覚が研ぎすまされるのである。1,000m前後の低い雲の流れに4～5時間後の風を読み、3,000m～10,000mの高い雲の動きと流れ、そして夕陽の雲の重なり具合に明日と明後日の天候を予測する。また航海中には、自分が漕ぐべき位置にいるかを、前後左右の島影や岩・岬を見定め、海図と白地図を使って5分～10分ごとにチェックするのである。

その体験から学んだ多くの知識はその後の人生の指針となり、自分の生きる術として、今現在でも「自分らしく生きる」という「旅」を通じて日々活用している。

無人島の砂浜で一人沈みゆく太陽を眺めつつ、「三つ子の魂百まで」という諺をつくづく想い、小さな焚き火の前に、子どものころに眺めていたのと同じ夕陽を眺め、胸の奥で理解するのだった。

ねえ みんな、外で遊ぼうよ！

Rovering to Success

B-P『ローバーリング・ツー・サクセス』で読む

ウッドクラフト修得から始まる 信仰、奉仕への道



スカウティングは野外で行う愉快なゲームである。そこで少年の心を持った男たちと少年たちは兄弟のように一緒に冒険に出かけ、健康、幸福、ハンドクラフト、人に役立つことを身につける。（『隊長の手引』より）

本連載の2回目（2017年7月号）で、スカウト運動の創始者ベーデン・パウエル（B-P）が著書『スカウティング・フォア・ボーイズ』などで以下のように述べていることをご紹介します。

- ① 班制の下でハイキングやキャンプをして、仲間と力を合わせることや、困っている仲間を助けることを体験する。それは、より良い世界を支える人格を造るだろう。
- ② ウッドクラフトを修得し「観察と推理」の力をつければ、人の住んでいる所に戻っても、悩みのある人、困っている人を助けることができる。

野外活動やウッドクラフトの修得が、スカウティングの重要な柱である「奉仕の心」を育てることになります。今回は、その考察を、やはりB-Pの著書『ローバーリング・ツー・サクセス』から、もう少し深く探ってみましょう。

『ローバーリング・ツー・サクセス』 第5章「無宗教」より 大自然という書物 [The Book of Nature]

私がここ[この節]で述べることは特定の宗教をもっていない人とか、無神論という暗礁にさそいこまれそうな危険にさらされている人々への言葉である。

無神論者のいうことを聞くと、宗教は人生の導きをする原理どころか、むしろ迷信的なものであるから、われわれはクリスチャンやその他の宗教に反対なのだという。彼らは、人間によって書かれた本から学ばなければならないような宗教は、真実な宗教とは考えられないと主張する。けれども、彼らは印刷された書物以外に、また神の啓示以外にも、神はひとつの足がかりとしてわれわれに大自然という偉大な本を与えてくれたことに気づいていないらしい。この事実は彼らの眼の前に厳然として存在しているのだから——彼らとても、それを真実でないとはいえないはずである。

シェクスピアは——

「石に説教あり、木に舌あり、せせらぐ小川に書物あり、物として善ならざるものなし」といい、ベーコンは——

「自然という本の研究は、神の啓示をつかむ真の鍵なり」

といい、マホメット教[イスラム教]の経典コーランには——

「天上なる全てのもの、地上なる全てのもの、日月星辰、山川草木、猛獣人間に至るまで、みな神に奉仕するを見ずや」と記している。

私の言を誤解しないでほしい。私は自然研究というものを礼拝のひとつの形であるとか、宗教の代用であるとかいっているのではない。私がいいたいのは、大自然を理解することは、ある場合には宗教をえるひとつの手段になるということである。

[]内は本誌編集部注

解説

B-Pの『スカウティング・フォア・ボーイズ』（1908年刊）は、少年たちにもよく読まれたが、元来は成人や指導者に向けて書かれたものです。1932年に少年向けに改訂され、今日に至っています。現在の日本語版もほぼこの版です。

一方で『ローバーリング・ツー・サクセス』（1922年刊）は青年向けに「自分のカヌーは自分で漕ぎ、幸福になること」をガイドした本です。この著作でB-Pは「人生は航海」であり、



馬、酒、女、郭公^{かっこう}といかさま師（B-Pは「口のうまい大衆指導者」などを「自分の意志を他の鳥におしつける」カッコウに例えました）、無宗教という「君たちが乗りあげそうな暗礁」を5つ上げています。その中で「ウッドクラフト」に一番関連づけられている暗礁が「無宗教」です。

B-Pは1917年7月のイギリス連盟の指導者用機関誌『ザ・スカウター』で「キャンプの季節」と題して、こう述べていました（『B-Pの展望』より）。

キャンプ中こそ訓練の4つの主眼点、すなわち性格、他の人への奉仕、技能、肉体的健康などを楽しく教え込む機会である。とはいえ、キャンプは何よりも、隊長が少年に自然やさまざまな驚異に直接触れて興味を持たせ、神の方へと導いていく最高の機会なのである。

また、1919年刊の『隊長の手引』では、「第II部 市民性へのスカウティング」の中で「人生の楽しみ」と題してこのように述べています。

自然の知識や知恵（しつこすぎるくらい何度も強調しているかもしれないが）は、少年たちの心と考えを発達させる最高の手段であり、



君自身のカヌーを漕ぎ、前を向いて。もしも危険に背を向けて他人に漕がすならば君は難破するだろう。



同時に、もし隊長がこの点を見失わないならば、少年たちを人生のより高い楽しみに導くような自然の美しさを鑑賞する力、その結果として芸術を鑑賞する力ももたらすのである。

これは、造物主たる神の不思議な御業を通して神を実感することに加えて、それが他の人たちに奉仕するという神の意思の積極的な行動と結びつくならば、信仰の確固とした基礎を構成することになる。

『ローバーリング……』からの引用部分の「宗教」を「信仰」と読み替えてみてください。ウッドクラフト修得と「自然研究」によって接する自然の美や驚異。そこから、神という人智を超越した精神的存在を知って、それを受け

入れる。それが信仰心の始まりのひとつであるとB-Pは述べています。もちろんそこには、①年齢や経験などによる当人の知識や心構え ②天文学・生物学・医学などのその時代の科学のレベル ③人権意識など、やはりその時代の社会的な風潮などの規制や影響を受けてはいますが、神であれ仏であれ、いわば「神秘」というものを自分の心に受け入れることが信仰の始まりになるのではないのでしょうか。

そしてその超越者は、自然の神秘を見せるだけでなく、すべての人が幸福になるように願っているのであり、信仰心を得た者は、森を出てからも、より良い世界をつくることに向けて努力する、しかもそれが自分の幸福にもつながると、B-Pはこの『ローバーリング・ツアー・サクセス』で述べたかったのでしょう。

ボーイスカウト運動は野外を教場として青少年を育て、より良い世界を目指します。スカウトに奉仕の精神を芽生えさせます。その心が、班制や観察、推理の訓練からだけでなく、自分を含めたすべての人々の幸福を願う広い信仰に支えられたものであれば、その奉仕はより堅実なものになるでしょう。

B-P 存命中の1924年、コペンハーゲンで開催された「国際スカウト会議」では、「本運動〔ボーイスカウト運動〕は、あらゆる国、階級、宗教に属するスカウトの間に、差別のない兄弟愛を主張する点で普遍的である」と決議しています。信仰の対象は、B-P が信じていたキリスト教の神に限るものではない。それはスカウト運動が世界中に受け入れられた重要な要素でもあったのです。今日でも、それは世界スカウト機構の憲章にも明記されており、日本はもとより世界各国の連盟の「ちかいとおきて」にも反映されています。

世界広し、といえども「自然」のない所はありません。スカウト運動に共鳴した人々は、それぞれの国や地域にふさわしいウッドクラフトのプログラムとさまざまな信仰を通じて、スカウトたちを育て、この運動を広めていきました。



日本にスカウト運動が伝わって、もう100年を超えています。1916年、琵琶湖畔で日本初めてといわれているスカウトキャンプが行われました。次号は、そのキャンプを主宰し、後に少年団日本連盟を支えた中野忠八氏の『テント生活の仕方』（1924年刊）をもとに、日本でスカウティングが始まったころのウッドクラフト教育を見てみましょう。



引用書

(いずれも、ボーイスカウトエンタープライズで発売中)



『ROVERING TO SUCCESS (日本語版)』

1967 / 日本連盟 翻訳・発行 / 918円 (税込)

原本は1922年発行。



『隊長の手引』(新訳版)

2006 / 於保信義、小倉匡平、中野まり 翻訳・監修 / 日本連盟 発行 / 719円 (税込)

原本は1919年発行の“Aids to Scoutmastership”。



『B-Pの展望』

2002 / 於保信義 翻訳 / アダルトリソース委員会 監修 / 日本連盟 発行 / 540円 (税込)

原本はイギリス連盟が発行していた、“B-P’s Outlook”。

参考書



『聖書、コーラン、仏典』

2017 / 中村圭志 / 中央公論新社 中公新書 / 972円 (税込)

ジャンボリーなどでは、参加者がどのような宗派の教義・儀礼を持っているかは、ぜひ知っておきたい。新約・旧約聖書から、神道の「祝詞」まで、主な宗派をその「教典」から解説した本。「教典」に現れるさまざまな宗教文化を知ることができる。

本書で著者は、教典ではないが、宮沢賢治の「雨ニモマケズ、風ニモマケズ……」の詩を、すべての人々の幸福を願う祈りと決意がわかりやすい言葉で凝縮されたものとして、高く評価している。



『宮沢賢治詩集』

1950 / 谷川徹三 編 / 岩波書店 岩波文庫 / 875円 (税込)

子どもと自然が好きで、優れたウッドクラフターでもあった賢治の作品は、スカウトスピリットに通じるものが多い。ほかにも数多くの本で読むことができる。

【訂正】前回(2018年3月号掲載)の参考文献のコーナーで、スカウティング文献の紹介サイトをThe Duncpと表記しましたが、The Dumpでした。お詫びして訂正いたします。

日本連盟情報 May 2018

4月上旬までの会議・研修など

2月

- 17日(土) ● 第17回日本スカウトジャンボリープログラム専門部会(第3回)
- 18日(日) ● 中途退団抑止タスクチーム会議(第3回) ● 臨時理事会(第3回) ● スカウト教育推進会議(第4回)
- 20日(火) ● ボイススカウト振興国会議員連盟総会
- 21日(水) ● 第17回日本スカウトジャンボリー信仰奨励プログラム打ち合わせ会(第2回) ● 財務委員会(第5回)
- 22日(木)～26日(月) ● 平昌冬季オリンピック世界ユースキャンプ派遣
- 24日(土) ● 第17回日本スカウトジャンボリー配給・食堂専門部会(第5回)
- 25日(日) ● 安全促進フォーラム(群馬会場) ● 共済運営委員会(第4回)

3月

- 1日(木) ● もったいない寄付「ボランティアデー」
- 3日(土) ● 日本連盟ディレクター会議(第4回)
- 3日(土)～4日(日) ● 第17回日本スカウトジャンボリー実行委員会(第10回) ● RCJ運営委員会(第4回)
- 4日(日) ● 第17回日本スカウトジャンボリーサブキャンプチーム会議(第4回)
- 5日(月) ● ボイススカウトPR動画配信
- 6日(火) ● 臨時評議員会(第2回) ● 運営会議(第10回)
- 10日(土) ● 新任副リーダー・トレーナー研修会(東会場) ● RS部門在り方検討タスクチーム会議(第3回)

- 11日(日) ● 新任副リーダー・トレーナー研修会(西会場)
- 17日(土) ● BVS部門プログラム検討タスクチーム会議(第2回) ● 第17回日本スカウトジャンボリー総務専門部会(第3回) ● 第17回日本スカウトジャンボリープログラム専門部会(第4回)
- 17日(土)～18日(日) ● 第17回日本スカウトジャンボリー会場運営専門部会(第2回)
- 19日(月) ● 理事会(第3回) ● 臨時評議員会(第3回)
- 23日(金) ● 100周年記念史編纂委員会(第9回) ● 防災危機管理タスクチーム会議(第6回)
- 24日(土) ● 名誉会議(第2回)
- 24日(土)～25日(日) ● 第17回日本スカウトジャンボリー広報専門部会(第3回)
- 26日(月)～27日(火) ● 富士スカウト代表表敬(首相官邸・文部科学省)
- 27日(火) ● スカウトと社会をつなぐ場所(第8回)
- 31日(土) ● 第17回日本スカウトジャンボリー全体行事専門部会(第4回)

4月

- 3日(火) ● 運営会議(第1回)
- 4日(水)～5日(木) ● 富士スカウト代表表敬(東宮御所)
- 7日(土)～8日(日) ● 第17回日本スカウトジャンボリー輸送専門部会(第3回) ● 第17回日本スカウトジャンボリープログラム専門部会(第5回)

平成29年度富士スカウト代表表敬の実施(報告)



平成29年度の富士スカウト代表表敬を1泊2日の日程で行いました。代表スカウトは集合の後、準備訓練を行い、翌日それぞれの表敬先を訪問しました。東宮御所では皇太子殿下より、首相官邸では安倍内閣総理大臣より、文部科学省ではスカウトOBでもある林文部科学大臣より、激励のお言葉を頂戴しました。

- 東宮御所【日時】4月5日(木) 14:30～15:20 【参加者】代表スカウト31 県連盟47人
- 首相官邸・文部科学省【日時】3月27日(火) 11:40～12:00(文部科学省)、18:00～18:20(首相官邸) 【参加者】代表スカウト20 県連盟47人

維持会員(敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます 2018年1～2月度

【北海道】	花田 健二	西尾 健
渡邊 伸夫	古瀬 洋司	渋谷 達雄
B S 札幌 22	西 英子	諸越 邦男
BS北海道連盟	南 正晃	藤田 修
上川地区協議会	田中 秀幸	浅野 正
【青森】	鈴木 亮仁	浅野 麻利子
佐藤 正	河辺 尚孝	秋元 富美生
【岩手】	石川 勝己	佐野 弘明
尾形 善且	太田 匠	平本 勝哉
B S 盛岡 5	荻野 茂	安齊 健志
【秋田】	柳間 隆之	関野 清一
藤原 隆	堀田 清乃	吉野 博明
乳井 豊彦	宇治 隆雄	木村 高弘
熊谷 正司	阿久津 滋男	神 敏夫
【栃木】	萩原 謙	
新井 政一郎	若野 隆生	深澤 勝
石川 秀忠	山田 豊	水流 富士雄
【群馬】	菅原 信豊	細野 泰司
船津 保雄	中島 一郎	横溝 宏明
渡辺 保	山田 均	B S 品川 8
今井 健介	B S 鎌倉 5	B S 町田 18
【埼玉】	B S 川崎 46	町田デザイン専門学校
牛山 佳久	【新潟】	
男澤 望	真山 明夫	関川 憲司
B S 蕨 2	松本 康夫	渡辺 誠
BS埼玉県連盟	中井 正生	今井 浩二
財政委員会	荻原 和幸	渡辺 進
【千葉】	大川 昌宏	宮崎 育子
織田 一雄	安 廣 正義	第一建設工業(株)

【石川】	芝田 良雄	B S 半田 8
内田 宏	BS静岡10育成会	BS西尾1育成会
東本 晃一	B S 清水 地区	B S 稲沢 4
【福井】	B S 静岡 地区	B S 豊橋 1
八木 繁太郎	B S 磐田 地区	B S 豊橋 4
山崎 幸夫	赤沢クラブ	仏立寺
高芝 和彦	【愛知】	新東工業(株)
【長野】	折戸 定良	【三重】
青木 秀樹	津川 清	寺尾 岩次
青木 桂子	川口 由美	下間 賢了
BS松本6育成会	竹之内 藤一	山口 成治
【岐阜】	白谷 康裕	澤内 秀仁
田中 忠彦	平林 豊	喜田 久仁広
伊藤 雅基	茂木 謙二	【滋賀】
植村 英志	岡田 一	崎 信治
神山 勝治	足立 武	伴 忠信
中部事務機(株)	神谷 能宏	岡村 誠子
名鉄観光(又(株)	高津 正雄	嶋田 寛
岐阜支店	志水 幹	【京都】
(株)ジー・サカイ	北出 武	鈴山 勝彦
(株)シワ 高田勝実	田口 貴敏	高木 伸隆
イビケン(株)	古谷 仁彦	高林 仲樹
伊藤配管工業(株)	市川 宗章	齊藤 亮司
イビデン(株)	加納 弘	【兵庫】
【静岡】	佐藤 陽介	藤井 慧乗
高崎 浩太郎	稲垣 徹男	長 八洲翁
山崎 茂樹	外山 悟	富永 和也
大川 靖夫	柴田 吉彦	原田 知典
林 晴二	B S 岡崎 11	讃岐 等
川村 悦子	B S 幸田 3	千崎 昭輝
北村 誠	B S 半田 2	北村 茂寛
海野 登光	B S 新城 3	滝川 修介
杉山 敏允	BS名古屋50育成会	濱田 耕次

【奈良】	永広 逸子	【島根】	BS福岡20育成会
村田 禎章	【広島】	澤 真吾	【長崎】
【和歌山】	船越 聖示	【山口】	藤田 孝
小畑 淳	【山口】	池田 信幸	【宮崎】
山本 一郎	池田 信幸	小橋 克哉	河野 充典
田中 英明	【徳島】	天羽クリニック	村永 盛哉
【大阪】	高見 篤志郎	膳師 功	BS宮崎連盟
磯林 征一	磯林 征一	豊澤 進	スカウトクラブ
梅谷 進	【香川】	綾田 福雄	「かよう会」
B S 枚方 3	【愛媛】	宮野 義久	【鹿児島】
【鳥取】	BS松山地区振興会	【福岡】	藤岡 義道
坪倉 顕示	原 忠行	日本	清宮 克幸
			Chubb損害保険(株)
			パシフィックメゾン(株)
			日本管財(株)

マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/kifu/index.html>

1～2月にお申し込みいただいた方々です。

【埼玉】	脇田 大輔	【富山】	島山 遵	【日本】	宇都 宇宙
時計 一利	【奈良】	龍本 高志	弓場 康平		
【東京】	井村 眞一	【山口】	岡寺 信政		
比地原 草平					
深見 泰子					

日本連盟創立100周年記念章を着用しよう！



(実寸)

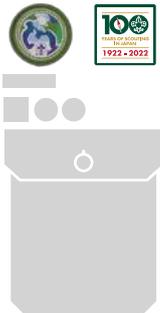
2022年、ボーイスカウト日本連盟は創立100周年を迎えます。日本連盟では、この記念すべき年をすばらしいものにするための計画、準備を始めています。お祝いの記念事業を展開するだけでなく、2022年に向けてスカウト運動をより魅力的なものにしていくように、さまざまな取り組みを行ってまいります。

その一環として、まず、今年から2022年末(12月31日)までの間、加盟員全員でこの「日本連盟創立100周年記念章」を制服のほか、好きなところに着用していこう、ということになりました。この記念章は、ボーイスカウト日本連盟が100周年を迎えるということをより広く社会に発信していくためのPRアイテムとして使っていただくものです。

記念章は、1枚200円の有償頒布とさせていただきます、100周年記念事業の活動奨励財源として活用させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

4月に所属加盟員数を基礎に都道府県連盟へ配布しており、加盟員の皆さんにはまず1人1枚をそれぞれ所属されている県連盟を通じて頒布させていただきます。2枚目以降の購入についても所属県連盟を通じてお申し込みください。

着用位置 記念章は制服に縫着するとともに、カバンや作業帽などにも縫着することを奨励する。制服への着用の場合は、左胸ポケット上部とし、ビーバースカウトは右袖上部とする。

BVS		CS、BS、VS、RS、指導者	備考
新制服に、下記のとおり着用します  ポロシャツ右袖(中央部)	旧制服(平成30年8月31日まで)は、下記のとおり着用します  制服上着の左胸(年功章の下)	新制服(旧制服も同様)に、下記のとおり着用します  制服左ポケット上部(年功章の上)	CS・BS・VS・RSが世界スカウト環境バッジを着用している場合は、「100周年記念章」を外側に世界スカウト環境バッジを内側(制服中心部側)に、並列で着用する。 (右図参照) 

外国語会話バッジに6つの言語を追加

平成30年4月1日より、外国語会話バッジの種類が増えました。

アラビア語

العربية

イタリア語

Italiano

タガログ語

Tagalog

ドイツ語

Deutsch

ポルトガル語

Português

ロシア語

Русский язык

元からある英語、韓国語、スペイン語、中国語(普通話)、フランス語を合わせると全部で11種類です。対象はカブスカウトくま課程の年代以上になりますので、ぜひそれぞれの外国語会話能力をバッジという形であらわし、より多くの人に奉仕していきましょう。

取得方法などは日本連盟ホームページをご覧ください。





ボーイスカウト PRムービー コンテスト 2018 開催



昨年の最優秀作品
ボーイスカウトの
夏キャンプをのぞいてみよう!

今夏、昨年につき、
2回目のPRムービーコンテストを開催します。
皆さん、ボーイスカウトの魅力が詰まった作品を
ぜひご応募ください!

【募集内容】

- 1 ボーイスカウトの魅力を発信する内容のもの
- 2 10秒以上90秒以内の作品
- 3 部門テーマは3つ(1部門につき1作品の応募が可能)

【作品部門テーマ】

① イメージPR



アウトドア、アクティブ、スマイルなどをキーワードに、ボーイスカウトをPRする内容

② スキル



ロープやキャンプなどをキーワードに、ボーイスカウトが持っているスキルを紹介する内容

③ エンターテインメント



ミュージックやパフォーマンスなど、フリージャンル。それぞれがもつ、さまざまな能力を生かした内容

【スケジュール】

募集期間：7月1日(日)～8月31日(金)
結果発表：10月上旬(予定)

【応募方法】

- STEP.1 撮影した動画を Youtube に「限定公開」でアップロード。
- STEP.2 「投稿する」ボタンをクリック！スマートフォンからでもできます！
- STEP.3 投稿完了。

【賞品】

パナソニック株式会社にご提供いただき、最優秀者、優秀者には賞品をお贈りいたします。

詳細や昨年の結果は、日本連盟ホームページからご覧ください。 <https://www.scout.or.jp/1pmc/index.html>

2018
No.726
7

SCOUTING

次号予告 次号の「スカウティング」は、2018年7月1日発行

特集

いよいよ17NSJ

いよいよ17NSJ 開催まで1か月。各種最新情報をお届けします。

なんでも応募先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局「スカウティング」投稿係
〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3
電話 03-5805-2903 FAX 03-5805-2908 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定／本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

「スカウティング」2018年5月号 No.725 平成30年5月1日発行(奇数月1日発行)
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3 <https://www.scout.or.jp>
「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は同様の登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月～8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月～翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号～9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2017 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(TEL:03-5805-2903)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



前号より、機関紙「スカウティング」のデジタル版(PDF)を読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine
PASS: sonaeyotuneni
URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

Scout Shop

<https://www.scout.or.jp/scoutshop/index.html>

17NSJ 商品と 限定商品のご案内です！



17NSJ ビクトリノックス クラシックSD RD

品番 / 71067 サイズ / 58mm
価格 / 2,000円(税込)



17NSJ ビクトリノックス クラシックSD BL

品番 / 71069 サイズ / 58mm
価格 / 2,000円(税込)

- 17NSJ 大会記念商品
- 大会文字ロゴ入りのナイフ

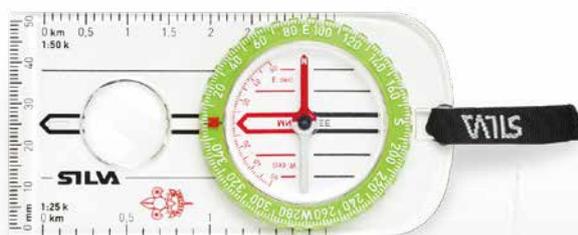


17NSJ バックル

品番 / 71071
サイズ / 50×70mm
価格 / 1,800円(税込)



- 17NSJ 大会記念商品
- ジャンボリーロゴのバックル
- 5月上旬発売予定



シルバコンパス レンジャーW

品番 / 82437
サイズ / 54×108mm
目盛り / 2°
価格 / 2,570円(税込)

- リングの数字の色が通常とは違う白の特別版。
- 数に限りがございますので、お早めにご注文ください。



シルバ ヘッドランプ CR80

品番 / 89469
サイズ / 55×45×40mm
明るさ / 20～90ルーメン(2段階の切り替えと点滅可)
電源 / 単四アルカリ電池3本
価格 / 2,160円(税込)



一般財団法人
ボーイスカウトエンタープライズ
Boyscout Enterprise

● スカウト用品ご購入の際は、県連盟または、お近くのスカウト用品取扱協力店にてお求めください。
● 本ページ掲載商品は直接注文でもお求めいただけます。お支払いはボーイスカウトカード (BSカード) または代金引換となります。日本連盟ホームページの“メンバー向け情報” → “ダウンロードセンター”より注文書をダウンロードのうえご注文ください。



我が子を守るために、
私達が今すぐできること。



高校登山部の3人に1人が利用中の

アウトドア 危機管理サービス



ココヘリ ボーイスカウト特約